

ルートは推測

至：竜ヶ岳

道がフェンスに遮られたが、一か所が破られて、細い道が続いていた。変だなと思ったが進みしばらくすると道がなくなった。尚も進み植林帯の中で視界がきかず、正規の登山道ではないが、そのうち正しい道に出ると思い、また登ることにしたが灌木が密になり断念。

引き返す

端足峠
はしたた

A 沢野水池



貯水池を過ぎるとフェンスに遮られたが、フェンスの一か所が破られて、細い道が続いていた。変だなと思ったが、先に進んだ。やはり変だと思って、今来た道に戻り、分岐を探すがなかった。視界はきかないが、方向は概ね正しいと判断。正規の登山道ではないが、そのうち正しい道に出ると思い、また登った。

やがて杉の植林帯から雑木林に変わった。この頃、はっきりと道に迷っていると自覚していたが、自分の位置が確認できるところまで登って行こうと考えた。ひょっとすると、このまま稜線に出られるかとの期待がよぎったが、直ぐに道らしきものは消えた。あと少しで稜線というところまで来ていたので、そのまま直登し稜線を目指した。しかし、直ぐに灌木が密になり、体が通らなくなった。本当にもう少しのところ、万事休すとなり撤退を決心した。(HP参照)

「あれっ？おかしい？」と思って「来た道に戻るが現在位置の根拠がない」そして「道が違っていると思いつつ自分を励ましながら進む」さらに「このまま進んでも稜線に出られると期待」するが「灌木が密になり、体が通らなく進めない」やっと、「現実を受け入れ撤退を決める」
道迷いの心理がここにある。